



| | |
|------------|---|
| Title | 露國に於ける鑛山業の起原 |
| Author(s) | 中村, 俊蔵 |
| Citation | 商業と経済, 6(1), pp.218-222; 1925 |
| Issue Date | 1925-12-25 |
| URL | http://hdl.handle.net/10069/26832 |
| Right | |

This document is downloaded at: 2020-10-26T19:41:47Z

露國に於ける鑛山業の起原

中 村 俊 藏

有史以前現今の露國に殖民せし人種は鐵、銅、銀、金等を採掘しつゝありしことのみありしは其舊き跡によりて疑なき事實なり。此等の舊き跡の中にて顯著なるものはザバイカル洲のオルチンスク鑛山區内に存在せるものなり。

韃靼人の束縛(一二四三年—一四八〇年)ありしため露國に於ける鑛山業は其自然の發達を永く防げられ居りしも其束縛解除以後は少しく發達を見るに至り政府は以前の如く鑛山業に手を染め始めたり、穿鑿及金屬類採掘に關し少しなりとも智識を有し且經驗を有せる者なきため遂に外國人に依頼するの止むなきに至れり。大侯ヨアン三世(一四四〇年—一五〇五年)は一四六二年より露國を韃靼人の

羈絆より脱せしめんと努力し遂に目的を達せし英傑にして我國に金銀鑛あるも然も何人も之を土塊と分離する方法を知るものなし誰か金銀鑛に關し智識を有し土と分離せしめ得る技師もがなと云ひて一四八八年匈牙利王マトベイ・コルビンに依頼し技師を招聘せり。斯くして露國に金銀鑛の穿鑿隊初めて編成せられたり。又ヨアン四世、フョドル及ポリス、ゴドノフ等は全力を盡して外國人技師を自國に誘致せり、政府側の此等の盡力と共に十七世紀に於ては民間に企業熱盛に起れり、此時既に多少なりとも詳細なる法令發布せられたり、該法令に依れば穿鑿の權利及鑛坑を發見したる場合には金屬類を鑄解し得る權利を個人に與へたり、又此法令の特徴の大略は穿鑿及鑛

物の獲得は總ての土地、何人の土地に於ても是を爲すことを許可せられたることにあり従て政府は地上權と地中權とを區別し地中權を自己の所有となせしこと明かなり。

鑛山業に關する政府の法律嚴格に確定し居らずして或る一定の人に與へられたる權利は一度不法行爲ある時は直ちに是を剝奪さるゝ事の多かりしたため鑛山業者等は自己の勞苦及費用の徒事に歸せんことを氣遣はざるを得ざりき。此現象は鑛山業に従事せんとする希望者の數を自然に減少せしめたり。

實際の意味に於ける鑛山業及鑛山に關する法律は露國に於てはビョートル一世の時に始まれり、鑛山に關する眞の意味に於ける法律は一七〇〇年十一月二日附を以て發布せられたるビョートル一世の勅令に起源す、該勅令に依れば如何なる鑛物の所在地なりとも是を發見したる者は直ちに其旨政府に申告せざるべからずと云ふにありき、同年ビョートル一世は特別の鑛山行政を爲さんと試みたり、そ

れがため全鑛山業を管理すべき採鑛業管理事務所と稱する一事務所を創設せり、他の先覺者と同様に彼は鑛山に關する科學を會得せる有識の士を諸外國より自國に誘致することに全力を傾注せり、尙それにも満足せずして一〇七二年鑛山に關する科學的研究の特別の目的を以て露國人の一隊をサクソニアに派遣せり、一七一九年ビョートルは鑛山局を創設してそれに鑛山工場及鑛山業全部の管理を一任せり、而して當時發布せられたる法令の意義に依れば各人は自己所有の土地に於てのみならず官有地に於ても礦物及總ての有益なる採掘物を穿鑿する權利を得たるものなりき、然れども個人の土地に於ては其所有者の承諾の有無に拘らず彼等土地所有者のために一定の賠償即利益の三十二分の一を支拂ひ又國庫には總收入の十分の一を支拂ひたり、個人の企業を獎勵するために鑛山局は注意に値する礦物所在地を發見せしものには金錢上の褒賞を與へ採掘希望者には資金の貸附をも爲したり

エカテリナ女皇二世（一七二九年—一七九六年）の御代に（一七七二年）鑛山業に對する自由無くなり地上權の所有者は當然地中權の所有者と認めらるゝに至れり、近代迄此主義は法律中に殘存せり。

露國に於ける金鑛業の起原

露國に於ける金鑛業の最初は時代より云ふ時は十八世紀の中葉にして初めて金分を含有せる地層發見せられし所はウラルとアルハンデルスク縣の二個所にして此等は殆ど同時に發見せられたり、ウラルに於て初めて金の發見せられたるは一七四四年なり、其後に至りて同所にベリヨウゾフ鑛坑（ペルムス縣）設置せられたり、最初の程は金の獲得量極めて振はざりき、即一七五八年には僅に一布度（我國の四貫三百六十匁四分四厘程に當る）の獲得ありしのみなり。ウラルの採金業の最も發展せし時代は十九世紀の初頭十四ク年間に於て當時は一ケ年二十二布度の金を得たり、然れども鑛脈を深く掘り行くに従ひて生産力次

第に減少せり。

露國に於て最初砂より金を發見せしは一八一四年ベリヨウゾフ鑛坑に於て坑工長リポフブルスニツイン氏なり、最初の内は獲得量僅少なりしも一八一八年より砂金の獲得量次第に増加し次で一八二九年より私人採金業許可せられたため採金業は逐次發達し採金業者は次第々々に東方に深入し始めたり。

後貝加爾洲に於ける採金業の起原

エカテリナ女皇二世の命令によりてザバイカル洲の東半は所謂帝室財寶寮のものとして皇帝の所有に移れり、東ザバイカル洲に於ては一八三八年シルカ河に左岸より注ぎ入るカラ河沿岸に於て鑛山技師團一行中の中尉バウルクキー氏によりて初めて砂金發見せられ帝室財寶寮自らこれを採取せり、一八六二年より新領土なる黒龍江洲地方は一層自由なる條件のもとに個人採金業者のために開放せられたり、その目的とする所は金屬類の富源より得らるゝ利益のみならずその廣大にして無邊

とも稱すべき土地を殖民するにありき、東ザバイカル洲に於ける個人採金業の最初に就きては確實なる調査資料なし、然れども種々穿鑿の結果大略知り得たる所によれば次の如し

帝室財寶寮は前世紀の四十、五十、年代に於て金を大に穿鑿し採掘に値するものを約五十個所の窪地に發見し此等以外のものは個人の採掘に提供せり、最初此等のものよりチタ、ネルチンスク、ネルチンスクザボードスキ、及アクシンスク鑛山區、一九一七年頃迄商工務省の管理下にありしも多くの場合に於て帝室財寶寮に屬せし東ザバイカル鑛山區組織せられたり、該管轄區は西北はヤブロノイ山脈、東南に於ては黑龍江洲及支那國境を境界としてザバイカル洲の全東半部を占む、最初私人の鑛坑は一八六四年六月十七日ネルチンスク管轄區のナラ河の沿岸所在ウルクギンスカヤ、ステツプナヤ、ドウマの異種人に屬せし土地に於て發見せられザバイカル洲生れのエム、デー、ブウテンに依りてネルチンスク地

方裁判所に申告せられ、その場所はニコリスクと名稱を附せられ鑛山検査員の帳簿には第一番目に登録せられたり。次でデバーカ、ダラスン（ネルチ河支流）、デリマチック（インゴダ河の支流）河等の沿岸に於て發見せられたり、帝室財寶寮はこれより以前に穿鑿を爲し自己のために善良なるものを取り私人には殘存せる不良なるものを與へたること明白なり、それにも拘らず金の獲得量一時は一ヶ年參百布度に達せり。

東ザバイカル洲に於ける採金業の急先鋒なるエ、ム、デー、プーテンはダラスン河沿岸にて採金し資金を惜まず、又尙今日に於ても斬新と思はるゝエレワートル及ワゴネットカ等の機械を應用し事業を繼續したり、又一方に於てはザバイカル洲の當時の状態に従ひても金分に富める寄砂の採掘をも爲したり、然れども其後鑛山區内に於ける食糧品、凡ての物資、勞働賃などの高騰により事業振はず金の獲得量次第に減少し始めたり。加ふるに當時ザバ

イカル洲に於ては新事業相次で起り活氣を呈し來り商業に従事するもの生じ多くの人は採金業より手を引き始めたり、然れども兎に角それにも拘らず個人經營の採金業に依りて一八八五年に於ては平均含金量百布度の砂に於て四十八ドウリヤ（トウリヤはゾロトニツクの九十六分の一にしてゾロトニツクは我國の一匁一分強なり）の砂六千五百萬布度を三千八十二人の勞働者にて浚淨し八十五布度の砂金を得たり、又帝室財寶寮にては含金量百布度の砂に於て平均六十三ドウリヤ四分の三の砂三千萬布度より二千三百五人の勞働者を使用し五十二布度の金を得たり。西比利亞鐵道の建設開始せらるゝと同時に露國勞働者は此事業に吸収せられ他の勞働者皆無なりき、從ひて鑛坑に於ける大なる企業は中止せられ他の事業に移りて閉鎖せらるゝに至れり。一九〇五年には金の獲得量は一ケ年十二布度迄に減退せり、鑛坑の殘存せるものは最も古きものにして獲得量の最も少量なるものなりき、

日露戰爭終り西比利亞鐵道の建設も終りを告げし時支那人勞働者現出せり。

帝室財寶寮は鑛山税を一割五分より進行法によりて減じたり、即一ケ年二布度以下の獲得量なる時は五分、二布度以上五布度迄なる時は最初の二布度に對して五分、最後の三布度に對して一割、五布度以上は全部に對して一割五分となせり、斯くする内一九〇七年より鑛坑は再び活氣を呈し始めたり、クルチナ河沿岸に於ける發見あり、インゴダ河の左側支流に於ては著しき金の獲得量あり、一九一四年にはザバイカル洲管轄區に於ては一ケ年合計七十五布度の獲得量ありたり。

當時政府は從來採用し來りし進行税法を廢し均一税即今日（帝政時代を指示す）の五分税となせしを以て金の獲得量に影響を及ぼせり、探索熱しきりに起りしにも拘らず殖民せられたる土地の近邊に於て大なる新發見は一もなかりき、多少鑛物を含有せる地層發見せられしも事業開始及絶えず詳細なる穿鑿をなすために要する資力の不足なりしたため萬事手控となり何等積極的に語るに足るものなし。

（未完）